

第40回原子力船「むつ」安全監視委員会

日時：平成29年7月6日(木)

14:00～15:00

場所：アスパム 6階 八甲田

次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1)平成28年度の放射能監視結果について

(2)その他

4. 閉会

配付資料

資料1 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視結果(平成28年4月～平成29年3月 青森県・むつ市実施分)

資料2 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視結果(平成28年4月～平成29年3月 事業者実施分)

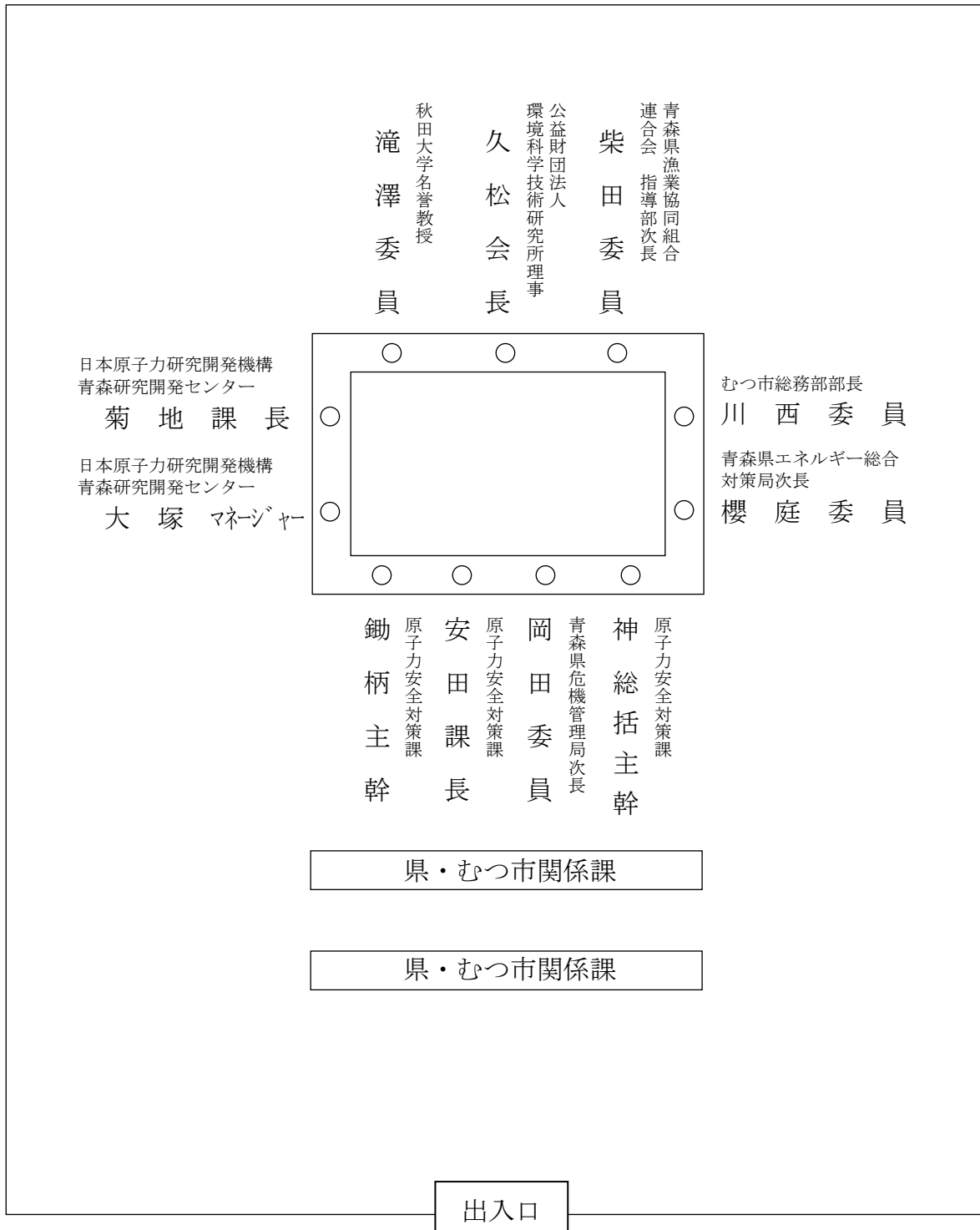
資料3 青森研究開発センターの附帯陸上施設等の現状と今後の予定

参考資料 原子力船「むつ」安全監視委員会開催状況

第40回原子力船「むつ」安全監視委員会 席図

平成29年7月6日(木)

アスパム 6階 八甲田



第40回原子力船「むつ」安全監視委員会 出席者名簿

1. 原子力船「むつ」安全監視委員会委員

委員名	役職	備考
久松 俊一	公益財団法人環境科学技術研究所 理事	会長
滝澤 行雄	秋田大学名誉教授・国立水俣病総合研究センター顧問	
岡田 稔	青森県危機管理局 次長	
櫻庭 浩	青森県エネルギー総合対策局 次長	
川西 伸二	むつ市総務部 部長	
柴田 直光	青森県漁業協同組合連合会 指導部 次長	

2. 事業者

氏名	職名
菊地 正光	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター 保安管理課 課長
大塚 義和	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター 保安管理課 マネージャー

3. 事務局

氏名	職名
安田 浩	青森県危機管理局 原子力安全対策課 課長
松田 大	〃 課長代理
神 正志	〃 総括主幹
五十嵐 健	〃 主幹
鋤柄 光二	〃 主幹
澤田 譲	青森県原子力センター 安全監視課 課長
松倉 祐介	〃 技師
檜山 宝孝	青森県原子力センター 分析課 技師

原子力船「むつ」安全監視委員会の設置及び運営に関する要綱

(目的及び設置)

第1条 青森県、むつ市及び青森県漁業協同組合連合会（以下「青森県等」という。）は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター周辺地域等の環境の保全及び住民の安全の確保のため、放射能の監視等を適切かつ円滑に実施することを目的として、原子力船「むつ」安全監視委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 青森県等の環境放射能の測定計画、測定の実施方法、測定結果の評価等について審議すること。
- (2) 必要に応じ、青森県等が行う放射能の監視作業等に立ち会い、又は自ら放射能の監視等を行うこと。
- (3) そのほか国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター周辺地域等の環境の保全及び住民の安全の確保に関する必要な事項について審議すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員8人で組織する。

(会長)

第4条 委員会に会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理する。
- 3 会長に事故があるときは、予めその指名する委員が、その職務を代理する。

(委員)

第5条 委員には、次に掲げる者をもつて充てる。

- | | |
|-------------------------|----|
| 青森県が推せんする学識経験者 | 2人 |
| むつ市が推せんする学識経験者 | 1人 |
| 青森県漁業協同組合連合会が推せんする学識経験者 | 1人 |
| 青森県の職員 | 2人 |
| むつ市の職員 | 1人 |
| 青森県漁業協同組合連合会の職員 | 1人 |

- 2 委員の任期は、委員会の存続期間とする。
- 3 委員は、当該委員の推せん者及び会長の承認を得て、委員を辞することができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、青森県危機管理局において統括し、及び処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

原子力船「むつ」安全監視委員会委員名簿

(平成29年 7月現在)

委員	役職名	備考
ひさまつ しゅんいち 久松 俊一	公益財団法人環境科学技術研究所 理事	会長 青森県推薦 学識経験者
たきざわ ゆきお 滝澤 行雄	秋田大学名誉教授・ 国立水俣病総合研究センター 顧問	むつ市推薦 学識経験者
おかだ みのる 岡田 稔	青森県 危機管理局 次長	青森県職員
さくらば ひろし 櫻庭 浩	青森県 エネルギー総合対策局 次長	青森県職員
かわにし しんじ 川西 伸二	むつ市 総務部 部長	むつ市職員
しばた なおみつ 柴田 直光	青森県漁業協同組合連合会 指導部 次長	青森県漁業協 同組合連合会 職員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
青森研究開発センターに係る放射能監視結果

(平成28年4月～平成29年3月)

(青森県・むつ市実施分)

平成29年7月

青森県・むつ市

目 次

1. 固体廃棄物（立入調査）	1
2. 空間放射線	2
3. 環境試料の核種分析	2
別紙 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター に係る放射能監視計画（青森県・むつ市実施分）	3

1. 固体廃棄物（立入調査）

青森県及びむつ市は、放射能監視計画に基づき、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターへの立入調査を実施し、固体廃棄物が適正に管理・保管されていることを確認した。

調査により確認した固体廃棄物の保管状況は、表1のとおりである。

表1 固体廃棄物の保管状況

保管場所	区 分	定 期 立 入 調 査	
		平成28年8月3日	平成29年2月14日
燃料・廃棄物 取 扱 棟	200ℓ 鋼製ドラム缶	501本	502本
	200ℓ SUSドラム缶	3本	3本
	300ℓ SUSドラム缶	2本	2本
	1 m ³ 鋼製容器	30個	32個
	3 m ³ 鋼製容器	3個	3個
	使用済樹脂収納容器	2本	2本
	その他（大型機器）	4個	4個
撤 去 物 等 保 管 棟	200ℓ 鋼製ドラム缶	148本	148本
	1 m ³ 鋼製容器	41個	41個
原 子 炉 室 保 管 棟	原子炉室一括撤去物	1体	1体

2. 空間放射線

放射能監視計画に基づき、浜関根他3地点において蛍光ガラス線量計（RPLD）による積算線量測定を実施した（表2参照）。

測定値はすべて過去の測定値の範囲内であり、これまでと同じ水準であった。空間放射線の測定結果に施設からの影響は認められなかった。

表2 RPLDによる積算線量測定結果（単位： $\mu\text{Gy}/91\text{日}$ ）

地 点	平成28年度				過去の測定値の 範囲※
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
浜関根	97	99	97	97	86～102
美付	91	93	90	89	80～98
関根	95	98	94	92	79～99
水川目	87	93	87	85	76～97

※：平成23～27年度の測定値。

3. 環境試料の核種分析

放射能監視計画において、放射性液体廃棄物の放出の都度、同放出水等の核種分析を行うこととしているが、平成28年度は海中放出がなかったことから、核種分析は実施していない。

以上

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る
放射能監視計画（青森県・むつ市実施分）

1. 放射能監視計画

放射能監視計画を下表に示す。監視項目等の内容は、以下のとおりである。

○青森県実施分

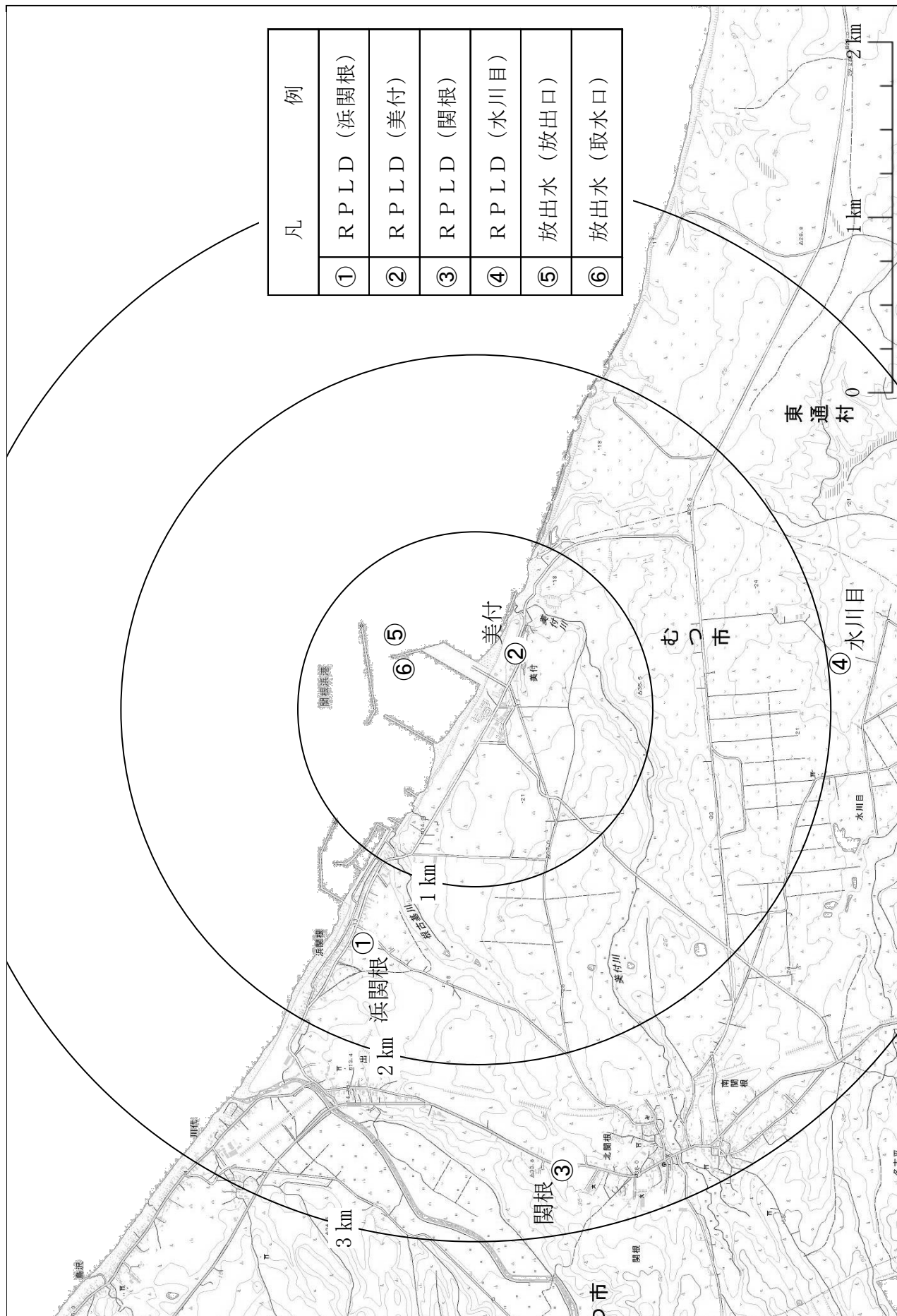
監視項目		地点	頻度	時期	備考
固体廃棄物	定期	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター	年2回	8月、2月	
	その他				
空間放射線	積算線量 (RPLD)	浜関根 美付 関根 水川目	年4回	四半期ごと	
環境試料の 核種分析 $\left[\begin{matrix} {}^{60}\text{C o} \\ {}^{137}\text{C s} \end{matrix} \right]$	放出水	放出口	放出の都度		
		取水口			

○むつ市実施分

監視項目		地点	頻度	時期	備考
固体廃棄物	定期	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター	年2回	8月、2月	
	その他				

2. 環境放射線等測定地点図

(出典：国土地理院)



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
青森研究開発センターに係る放射能監視結果

(平成28年4月～平成29年3月)

(事業者実施分)

平成29年7月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
青森研究開発センター

目 次

1. 固体廃棄物の保管状況	1
2. 放射線管理の状況	2
3. 空間放射線	2
4. 環境試料	3
別紙1 放射性気体廃棄物の放出状況の詳細について	5
別紙2 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能監視計画（事業者実施分）	7

1. 固体廃棄物の保管状況

固体廃棄物の保管状況を、表1に示す。平成28年度は平成27年度と比較し、燃料・廃棄物取扱棟の200ℓ 鋼製ドラム缶が1本増加している。内容物は、定常の点検作業で発生した綿手袋等の雑固体廃棄物が主なものである。また、300ℓ SUSドラム缶が1本減少し1m³鋼製容器が3個増加した。このうち、300ℓ SUSドラム缶1本の減少と1m³鋼製容器1個の増加に関しては平成28年5月16日に確認した300ℓ SUSドラム缶からの微量な液体の漏えいに係る対策として、当該300ℓ SUSドラム缶からオーバーパックされた200ℓ ドラム缶を取り出し、1m³鋼製容器に再オーバーパックしたためである。1m³鋼製容器の他の2個の内容物は、使用済排気フィルタによるものである。

表1 固体廃棄物の保管状況

保管場所	区 分	平成28年 3月31日	平成29年 3月31日	備 考
燃料・廃棄物 取 扱 棟	200ℓ 鋼製ドラム缶	501 本	502 本	
	200ℓ SUSドラム缶	3 本	3 本	
	300ℓ SUSドラム缶	3 本	2 本	
	1m ³ 鋼製容器	29 個	32 個	32 個の内、6 個は 使用済排気フィル タ
	3m ³ 鋼製容器	3 個	3 個	3 個は使用済排気 フィルタ
	使用済樹脂収納容器	2 本	2 本	
	その他（大型機器）	4 個	4 個	
撤 去 物 等 保 管 棟	200ℓ 鋼製ドラム缶	148 本	148 本	
	1m ³ 鋼製容器	41 個	41 個	
原子炉室保管棟	原子炉室一括撤去物	1 体	1 体	

2. 放射線管理の状況

放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の放出状況を表2に示す。放射性気体廃棄物の放出量は、月毎に次の計算式で求めた各施設の放出量を、四半期毎に合算した値である。なお、放射能濃度が検出限界濃度未満の場合、放出量は「0」として算出している。

$$\text{放出量 (Bq)} = \text{放射能濃度 (Bq/cm}^3\text{)} \times \text{放出空気量 (cm}^3\text{)}$$

放射性気体廃棄物のトリチウムは、廃液貯留タンク内に残留している原子炉1次冷却水中のトリチウムに起因するものであり、排気中のトリチウム濃度は、表2に示すとおり、周辺監視区域外の空気中の濃度限度を十分下回っていた。また、その他については、いずれも検出限界濃度未満であった。なお、平成28年度は放射性液体廃棄物の放出を行わなかった。

表2 放射性気体廃棄物の放出状況 (単位：Bq)

測定項目		平成28年度			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
気体	トリチウム	6.6×10 ⁵ [6.0×10 ⁻⁷]	4.2×10 ⁵ [9.1×10 ⁻⁷]	1.7×10 ⁶ [6.6×10 ⁻⁷]	5.5×10 ⁵ [4.5×10 ⁻⁷]
	その他	ND	ND	ND	ND
液体	トリチウム	—	—	—	—
	トリチウムを除く核種	—	—	—	—

- 注) 1. []内は、各四半期において測定した放射能濃度(Bq/cm³)の最大値。
 2. トリチウムの周辺監視区域外の空気中濃度限度：5×10⁻³ Bq/cm³ (化学系等：水)
 3. ND：検出限界濃度未満であったことを示す。
 4. —：当該期間中の放出実績がなかったことを示す。
 5. 放射性気体廃棄物の放出状況の詳細については、別紙2を参照。

3. 空間放射線

放射能監視計画に基づき、気象観測所他1地点において蛍光ガラス線量計(RPLD)による積算線量測定を実施した結果を表3に示す。測定結果は、すべて過去の測定値の範囲内であり、施設からの影響は認められなかった。

表3 蛍光ガラス線量計(RPLD)による積算線量測定結果 (単位: $\mu\text{Gy}/91$ 日)

測定地点	平成28年度				過去の測定値の範囲 ^{※1}
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
気象観測所	105	101	95	98	80~107
浜 関 根	115	112	105	102	82~116

※1 : 平成23~27年度の測定値である。

4. 環境試料

放射能監視計画に基づき、海水、海底土及びコンブについて環境試料の放射能測定を実施した結果を表4に示す。 ^{60}Co 、 ^{137}Cs の放射能は、すべて過去の測定値の範囲内であり、施設からの影響は認められなかった。

表4 放射能測定結果

調査項目	採取地点	採取年月日	単位	核種	測定結果	過去の測定値の範囲 (平成1~27年度)
海 水	排水口付近	28.5.13	Bq/l	^{60}Co	ND	ND
				^{137}Cs	1.5×10^{-3}	ND ~ 4.4×10^{-3}
海 底 土	排水口付近	28.5.13	Bq/g 乾土	^{60}Co	ND	ND
				^{137}Cs	ND	ND ~ 5.9×10^{-4}
コ ン ブ	関根漁港沖	28.8.3	Bq/g 生	^{60}Co	ND	ND
				^{137}Cs	ND	ND ~ 1.6×10^{-4}

注) ND : 検出限界濃度未満を示す。

今年度の検出限界濃度は、

海 水(Bq/l) : ^{60}Co : 1.5×10^{-3} 、 ^{137}Cs : 1.3×10^{-3}

海底土(Bq/g 乾土) : ^{60}Co : 6.3×10^{-4} 、 ^{137}Cs : 5.5×10^{-4}

コ ン ブ(Bq/g 生) : ^{60}Co : 1.2×10^{-4} 、 ^{137}Cs : 8.4×10^{-5}

放射性気体廃棄物の放出状況の詳細について

青森研究開発センターの附帯陸上施設(燃料・廃棄物取扱棟、機材・排水管理棟及び保管建屋)から放出された放射性気体廃棄物に係る放射能濃度を別表 1、2、放出空気量を別表 3 に示す。

別表 1 青森研究開発センターの附帯陸上施設から放出されたトリチウムの放射能濃度と検出限界濃度

(単位 : Bq/cm³)

	燃料・廃棄物取扱棟		機材・排水管理棟	
	放射能濃度	検出限界濃度	放射能濃度	検出限界濃度
4月	6.6×10^{-8}	6.4×10^{-8}	4.9×10^{-7}	7.5×10^{-8}
5月	ND	9.7×10^{-8}	5.5×10^{-7}	9.5×10^{-8}
6月	ND	1.5×10^{-7}	6.0×10^{-7}	1.5×10^{-7}
7月	ND	1.8×10^{-7}	6.4×10^{-7}	2.0×10^{-7}
8月	ND	2.3×10^{-7}	6.8×10^{-7}	2.4×10^{-7}
9月	ND	1.8×10^{-7}	9.1×10^{-7}	1.8×10^{-7}
10月	1.2×10^{-7}	7.5×10^{-8}	6.6×10^{-7}	6.8×10^{-8}
11月	ND	6.8×10^{-8}	6.4×10^{-7}	6.4×10^{-8}
12月	6.0×10^{-8}	4.1×10^{-8}	5.5×10^{-7}	4.1×10^{-8}
1月	4.8×10^{-8}	4.8×10^{-8}	3.9×10^{-7}	4.9×10^{-8}
2月	ND	5.6×10^{-8}	4.5×10^{-7}	6.0×10^{-8}
3月	ND	5.8×10^{-8}	3.8×10^{-7}	6.2×10^{-8}

- 注) 1. トリチウムの周辺監視区域外の空気中の濃度限度 : 5×10^{-3} Bq/cm³ (化学系等 : 水)
 2. ND : 検出限界濃度未満を示す。

別表2 青森研究開発センターの附帯陸上施設から放出されたその他核種の放射能濃度と検出限界濃度

(単位：Bq/cm³)

	燃料・廃棄物取扱棟		機材・排水管理棟		保管建屋	
	放射能濃度	検出限界濃度	放射能濃度	検出限界濃度	放射能濃度	検出限界濃度
4月	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.6×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹
5月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹
6月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹
7月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.1×10 ⁻⁹
8月	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.6×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹
9月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.1×10 ⁻⁹
10月	ND	1.3×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.1×10 ⁻⁹
11月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.1×10 ⁻⁹
12月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.1×10 ⁻⁹
1月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹
2月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹
3月	ND	1.4×10 ⁻⁹	ND	1.5×10 ⁻⁹	ND	1.2×10 ⁻⁹

- 注) 1. その他核種の周辺監視区域外の空気中の濃度限度：4×10⁻⁶ Bq/cm³ (⁶⁰Co)
 2. ND：検出限界濃度未満を示す。

別表3 青森研究開発センターの附帯陸上施設からの放出空気量

(単位：cm³)

	燃料・廃棄物取扱棟	機材・排水管理棟	保管建屋
4月	5.6×10 ¹²	1.2×10 ¹¹	4.2×10 ¹¹
5月	4.7×10 ¹²	1.2×10 ¹¹	3.9×10 ¹¹
6月	9.1×10 ¹²	2.2×10 ¹¹	6.6×10 ¹¹
7月	6.1×10 ¹²	1.8×10 ¹¹	5.9×10 ¹¹
8月	7.6×10 ¹²	2.0×10 ¹¹	7.3×10 ¹¹
9月	6.1×10 ¹²	1.8×10 ¹¹	5.9×10 ¹¹
10月	6.5×10 ¹²	1.9×10 ¹¹	5.0×10 ¹¹
11月	8.1×10 ¹²	2.0×10 ¹¹	7.2×10 ¹¹
12月	6.6×10 ¹²	2.0×10 ¹¹	6.0×10 ¹¹
1月	6.1×10 ¹²	1.6×10 ¹¹	5.2×10 ¹¹
2月	8.1×10 ¹²	1.6×10 ¹¹	5.4×10 ¹¹
3月	7.4×10 ¹²	2.0×10 ¹¹	6.5×10 ¹¹

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る
放射能監視計画（事業者実施分）

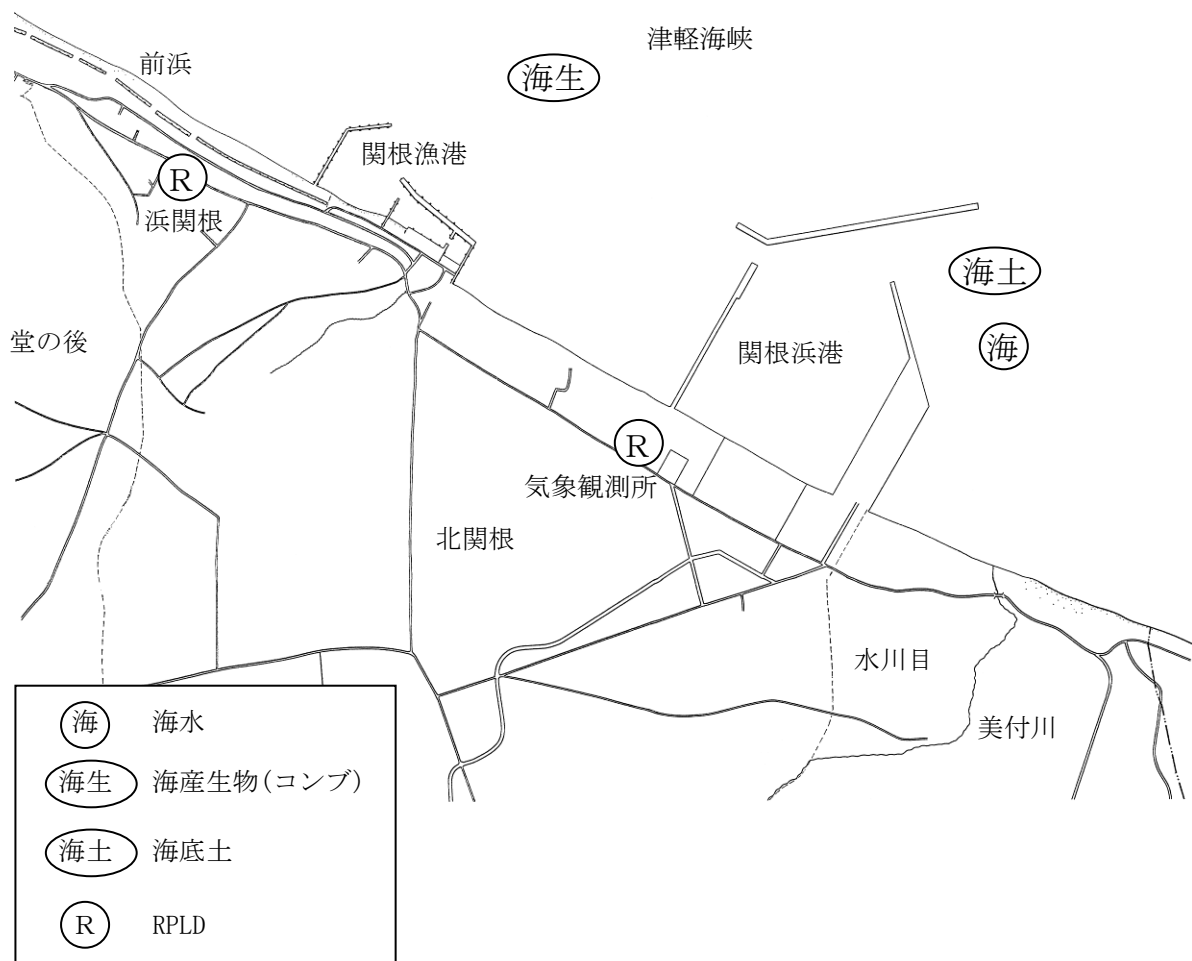
1. 放射能監視計画

放射能監視計画を表1に示す。監視項目等の内容は、以下のとおりである。

表1 放射能監視計画

監視項目	地点	頻度	時期	備考
積算線量 (RPLD)	気象観測所 浜 関 根	年4回	四半期毎	
海 水	排水口付近	年1回	5 月	^{60}Co 、 ^{137}Cs
海 底 土	排水口付近	年1回	5 月	
コ ン ブ	関根漁港沖	年1回	8月(収穫期)	

2. 環境放射線測定及び環境試料採取の地点



青森研究開発センターの附帯陸上施設等の現状と今後の予定

平成29年7月6日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
青森研究開発センター

1. 現状

原子力船「むつ」の解役や附帯陸上施設の廃止措置等に伴って生じた放射性廃棄物等は、撤去物等保管棟等に安全に保管管理されている。また、使用済燃料は、平成13年度に全数が日本原子力研究開発機構原子力科学研究所へ搬出され、燃料試験施設で平成18年度末までに再組立てが行われ、保管中である。

平成18年10月20日に認可された「原子力第1船原子炉の廃止措置計画」に従い、残存する原子炉施設の維持管理を行っている。

平成28年度においては、「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターに係る放射能の監視に関する協定書」に基づく、青森県、むつ市及び青森県漁業協同組合連合会による放射性廃棄物の保管状況に関する立入調査が行われ、施設の運転管理及び放射性廃棄物の保管管理が適切に実施されていることが確認された。

また、原子力規制庁東通原子力規制事務所による原子炉施設の保安規定遵守状況の検査が2回、保安巡視が4回実施され、違反などの指摘はなかった。

2. 今後の予定

撤去物等保管棟等に保管中の放射性廃棄物及び附帯陸上施設の廃止措置等によって将来発生する放射性廃棄物等の処分については、研究施設等廃棄物の処分が可能な廃棄事業者の廃棄施設において、廃棄物の受入れが可能であることを確認してから行うこととする。

なお、原子力船「むつ」の原子炉室については、むつ科学技術館において当分の間、展示物として保管管理を行う予定である。

3. 燃料・廃棄物取扱棟固体廃棄物貯蔵室に貯蔵中の3000 ドラム缶からの漏えいについて

(1) 原因

平成28年5月16日に確認した、燃料・廃棄物取扱棟固体廃棄物貯蔵室に貯蔵中の3000 ドラム缶^{*1}からの漏えいについて、原因調査を行い、以下のと

おり推定した。

- ① 原子力船「むつ」で使用した塩酸などの塩化物イオンを含む試薬をフィルタ洗浄水に混ぜ、2000 ドラム缶に直接セメント固化した際に、ブリージング水^{※2}が発生した。
- ② 塩化物イオンを含むブリージング水が、経年とともに2000 ドラム缶を腐食させ、当該3000 ドラム缶内へ漏れ出た。
- ③ 当該3000 ドラム缶（SUS製）内へ漏れ出た液体は、缶底に溜まり、塩化物イオンの影響により缶底の溶接部にピンホールを生じさせ、缶外へ漏れ出た。

※1 当該3000 ドラム缶は、平成24年10月に外表面に腐食が確認された2000 ドラム缶をオーバーパックしたもの。

※2 セメントを打設するとしばらくして、セメントとの反応における余剰水が浮き水として生じることがあり、これをブリージング水という。

（2）再発防止対策

推定した原因を踏まえ、以下の対策を講じた。

- ① 当該2000 ドラム缶を塩酸耐性のあるポリエチレン製の袋で養生するとともに、ポリエチレン製の角槽に入れ、1m³鋼製容器でオーバーパックした。
- ② 当該2000 ドラム缶と同様に液体廃棄物を直接セメント固化した、そのほかの廃棄物ドラム缶21本について、内部確認及びセメント中の塩化物イオンの確認を行い、塩化物イオンが検出されないことを確認した。

以 上

原子力船「むつ」安全監視委員会開催状況

開催日時等	議 題	備 考
第1回 (S49.10.24) 大湊ホテル (むつ市)	1 原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について ①青森県実施に係る原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について ②むつ市実施に係る原子力船「むつ」の定係港停泊期間中における放射能監視の実施方法について 2 その他	S49.8.26 出力上昇試験のため大湊港出港 S49.9.1 「むつ」放射線漏れ発生
第2回 (S50.3.28) 丸大 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	S49.10.5 大湊港へ帰港
第3回 (S50.9.19) 丸大 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第4回 (S51.4.30) 丸大 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第5回 (S51.9.17) アラスカ会館 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第6回 (S52.5.20) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 原子力船「むつ」の定係港出港時における監視計画について 4 その他	
第7回 (S53.1.19) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 その他	
第8回 (S53.9.18) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果について 3 原子力船「むつ」の臨時航行検査時 (海上運転) における放射能監視計画について 4 原子力船「むつ」の出港時における放射能監視計画に基づく実施計画について 5 その他	S53.9.29 海上試運転 S53.10.11～10.16 大湊港から佐世保港へ回航

開催日時等	議 題	備 考
第9回 (S53.12.26) ホテル青森 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る臨時航行検査時 (海上運転) 及び出港時並びに出航後の放射能監視結果について 3 その他	
第10回 (S57.7.29) アラスカ会館 (青森市)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」定係港に係る放射線等監視結果について 3 昭和57年9月の原子力船「むつ」定係港入港想定時における監視計画について 4 上記入港後の原子力船「むつ」定係港停泊時の監視計画について 5 その他	S57.9.6~8.31 佐世保港から大湊港へ回航
第11回 (S57.11.30) 野辺地町中央公民館 (野辺地町)	1 一般経過報告 2 原子力船「むつ」に係る放射線等監視結果について 3 その他	
昭和58年度 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る監視結果について 2 関根浜地区環境放射能調査計画について	
昭和59年度 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る監視結果について	
昭和60年度 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る監視結果について 2 船内保管放射性廃棄物の取扱いについて	
昭和61年 (持ち回り)	1 原子力船「むつ」に係る環境放射線等監視結果について	
第12回 (S63.1.12) アスパム (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る環境放射線等監視結果について ①定常時監視結果 ②温態予備点検作業等に係る監視結果 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視計画 (案) について 3 原子力船「むつ」の関根浜回航時における放射能監視計画 (案) について 4 原子力船「むつ」に係る新監視協定における放射能監視基準 (案) について 5 その他	S63.1.26~1.27 大湊港から関根浜港へ回航

開催日時等	議 題	備 考
第13回 (H元.2.27) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の関根浜回航時における放射能監視結果 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 その他	
第14回 (H2.2.19) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 その他	H2.3.29 出力上昇試験開始 H2.7.10 洋上試験開始
第15回 (H3.2.22) 青森国際ホテル (青森市)	1 原子力船「むつ」の現在の状況と今後の予定について 2 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 3 液体廃棄物の放出に伴う放射能監視(案)について	H3.2.25 実験航海開始
第16回 (H4.2.3) アラスカ会館 (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 その他	H4.9.18 解役工事開始
第17回 (H5.2.16) アラスカ会館 (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 今後の原子力船「むつ」に係る監視計画について 3 その他	H5.5.28 燃料取出し作業開始
第18回 (H5.11.5) アラスカ会館 (青森市)	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 今後の原子力船「むつ」に係る監視計画について 3 その他	H7.6.22 原子炉室一括撤去 解役工事終了
第19回 (H8.3.19 ～3.29) 持ち回り	1 原子力船「むつ」に係る放射能監視結果 2 平成8年度以降の青森県及び日本原子力研究所の監視計画 3 その他	
第20回 (H9.10.28 ～11.20) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	H9.11.7 「みらい」関根浜港入港
第21回 (H11.1.27 ～2.8) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	
第22回 (H12.2.10 ～2.24) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	

開催日時等	議 題	備 考
第23回 (H13. 1. 26 ～3. 16) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 その他	H13. 6. 25～30 H13. 9. 3～7 H13. 11. 13～17
第24回 (H14. 2. 18 ～3. 1) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 日本原子力研究所むつ事業所周辺地域に係る放射能監視計画等の見直しについて 3 その他	原子力船「むつ」使用 済燃料搬出
第25回 (H15. 2. 21 ～3. 18)) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 積算線量の測定方法について	
第26回 (H15. 10. 31 ～11. 7) 持ち回り	1 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果 2 積算線量の測定方法の変更について	
第27回 (H17. 1. 24) 県 庁	1 会長の選任について 2 日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果	
第28回 (H17. 10. 18) 県 庁	1 平成16年度の日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 平成17年度の日本原子力研究所むつ事業所に係る放射能監視計画について	
第29回 (H18. 4. 24) アラスカ (青森市)	1 平成17年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 平成18年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視計画について	
第30回 (H19. 5. 17) 県 庁	1 平成18年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 平成19年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視計画について	
第31回 (H20. 5. 20) 県 庁	1 平成19年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 平成20年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視計画について	
第32回 (H21. 6. 5) 県 庁	1 平成20年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視計画について	

開催日時等	議 題	備 考
第33回 (H22. 6. 25) ラ・プラス青い森 (青森市)	1 平成21年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第34回 (H23. 7. 19) ラ・プラス青い森 (青森市)	1 平成22年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第35回 (H24. 6. 11) アラスカ (青森市)	1 平成23年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第36回 (H25. 7. 23) アラスカ (青森市)	1 平成24年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第37回 (H26. 7. 31) アラスカ (青森市)	1 平成25年度の日本原子力研究開発機構むつ事業所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第38回 (H27. 7. 30) アラスカ (青森市)	1 平成26年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視結果について 2 その他	
第39回 (H28. 8. 23) アラスカ (青森市)	1 平成27年度の日本原子力研究開発機構青森研究開発センターむつ事務所に係る放射能監視結果について 2 その他	